



小野 恵章 議員

1、JR矢本駅周辺の課題について

言することは、困難な状況、課題の整理、先進事

A

市長 現時点で、計画の策定を明

開発の必要性や、周辺の課題について伺う。

Q

東松島市国土利用計画の概要に

Q

JR矢本駅周辺の課題について

できることから取り組みたい

例の検証等、できることから取り組みたい。

①駅前ロータリー、駐車場、栄町街区公園については、限られたスペースでの利用で「まちの魅力」という点で課題と認識。駅舎を含む全体的取組が求められる、慎重な対応とならざるを得ない。

②矢本駅北側連絡橋については、「まちの顔」と

なる施設整備を進めたいとの思いは変わらず、方向性を見定めた。

③市営北浦アパートについては、必要な修繕や改善を実施し延命化を図り管理戸数の調整を図る。

④市道矢本駅前線については、早期に整備方針を確定する。

⑤共立メンテナンス施設は、駐車場利用とする。



▲いじめについて伝える新聞記事



長谷川 博 議員

- いじめ・不登校、教育問題などについて
- 集団移転団地における残土処理について

いじめ・不登校の実態と対応は

家庭と連絡を密に早期対応する

Q

いじめ・不登校の状況はどうか。

各種相談員等を配置しているが成果はどのようになっているか。1学期との比較で2倍の件数となっているが。

②本市で教員の多忙化解消への取り組みは。

③新年度に向けて就学援助などの支援の見直しは。

A 教育長 ①いじめは小学校で37件、

中学校で18件。深刻なケースはない。不登校は小学校で13件、中学校で41件、昨年同期比では幾分減少。学校が相談員と情報を共有し家庭と連絡を密にして早期発見、早期対応に努める。これだけの相談員の支援で現状にある。支援がなければさらに増加していると考ええる。

②復興加配も含めて現状に合わせた教員配置としている。市独自の特別支援教育支援員も配置。相談員やスクールソーシャルワーカーの配置で保護者対応の負担を軽減。学校集金の負担も検討課題。

③就学援助をはじめ相談員の配置など各種支援は継続する。スクールソーシャルワーカーの増員も検討中。



▲ JR矢本駅周辺の今後は